オッカムの剃刀：シンプル・イズ・ベスト

オッカムの剃刀とは、大抵の場合、最もシンプルな解決方法が一番良い解決方法と言う意味です。

例えば、ビジネスで何か決断をしないといけない時があるとしましょう。決断材料として、色んな情報やデータがあるとします。この場合、そこにある色んな情報やデータの中から最も簡単、単純な情報データを元に決断を下すと言う事では無くて、信頼性、信ぴょう性のある情報データを元に決断を下すべきと言う風になります。

ですので、オッカムの剃刀に置けるシンプルと言う意味は、単純や簡単と言う事では無くて、最も確固たる物と言う意味になるわけです。

例えば会社で、ルールや報酬体系が複雑であったり、販売している商品サービスが複雑であるとしましょう。複雑であるがゆえに、社員やお客さんは確固たる決断や判断が出来なくなるわけです。それは、霧が充満しているかのようにモヤモヤとした状況なわけです。だからこそ、決断や判断のスピードをスムーズにしてあげるために、あらゆる物事はシンプルにするべきなわけです。

もちろん、シンプルにも限度があって、そのシステムがきっちりと作用できる範囲で最もシンプルにすると言う事が大事になります。シンプルにする事を追求し過ぎたら、オッカムの剃刀の刃によって、消えて無くなってしまうわけですから。

最後に、オッカムの剃刀の神髄をシンプルにまとめたのアインシュタインの格言を紹介します。

Everything should be kept as simple as possible, but no simpler.

可能であれば、その物事やシステムが必要十分に機能するレベルを目指しましょう。